

科目名：保育内容演習 表現		講義・ <u>演習</u>	担当教員名： 平山 紀子
			実務経験 : 有
1年次 前期	1単位		選択 <input checked="" type="checkbox"/> <u>必修</u>
授業の到達目標及びテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・表現とは何か・・・いろいろな角度から考えられることを学ぶ。 ・子どもの発達や遊びを理解し、子どもが表現すること(感性や創造性)の援助を学ぶ。 ・目に見える表現ばかりでなく、内面的な表現の捉え方など理解する。 ・実践的な(音楽・造形・身体表現他)だけでなく、内面的なものを現わすことの大事さを知る。 			
授業の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・表現の意味を、理論的にまた、講義の中に実技を織り交ぜながら進めていく。 ・子どもの発達を身体的だけでなく、心の発達を重視しながら形容詞的部分を大事に捉え、抽象的な気持ちや感情・発想などを大切に見ていく。 ・自分で表現することを経験しながら、表現する意味を理解し大切さなど捉えていく。 			
授業計画			
1	表現とは何か・・・保育指針の中の“表現”の位置		
2	表現遊び“自分をアピールしよう”		
3	乳幼児の発達を表現として捉える。身体的発達をしっかり捉える。		
4	乳幼児の発達を表現として捉える。身体的発達と共に表現の仕方を理解する。		
5	保育の中の表現を支える環境作り		
6	生活の中にあるものを表現として味わい感性を養う((生活の中にある形・動き他)		
7	生活の中にあるものを表現として味わい感性を養う(生活の中の音・触れるもの)		
8	美しさを経験し、美しさを表現し感性を養う。		
9	表現遊び“新聞紙で表現する”		
10	コミュニケーションとしての表現(まねる・見せる他)		
11	保育者が支える表現(保育者の基本的な在り方)		
12	保育者が支える表現(豊かな表現を支える援助や環境について)		
13	表現を支えるための保育者の役割		
14	表現の現代課題を考える。		
15	まとめ及び試験		
テキスト 保育内容演習表現一日々わくわくと生きる子どもの表現―			
参考書等 新聞の情報他			
評価の方法 試験における内容理解・自己表現におけるアピールの表現方法など			